

# 笑顔が一番

令和6年 5月  
今江こども園  
二木 恵子

緊張感いっぱいの4月が過ぎ、5月に入り連休疲れや4月頑張った分、大人も子どもも疲れが出る月かもしれませんね。

さて、どのお家の方も我が子は「いい子に育てほしい」と願っていますね。子育てに万能なものがあれば教えてほしいと思います。

万能なものは、『笑顔』がまさにそうです。

『笑顔』があれば、子どもは必ずいい子に育ちます。

『笑顔』があれば、子育ては必ずうまくいきます。

でも、疲れがたまるとついつい大事なことは分かっているけど、笑顔になれない時もあります。先日、原坂一郎さんの

「笑顔だけで子どもが変わる」という本を見つけました。本園の「笑顔が一番」にピッタリの内容の本です。これから少しずつ紹介していきます。子育ての参考にして下さい。\*原坂先生の本は、長い文章なので、私が伝えたいことを要約して紹介しています。



## 子どもに笑顔が増える法則

笑顔は勝手にやってきません。法則というが大げさで難しそうですが、時間も手間もかからない簡単なものです。

### スキンシップを心がける ☆子どもは瞬時に笑顔に

「お子さんを10秒以内で笑わせてみて」と言われたらどうしますか。

「こちょこちょ」と言いながらくすぐったり、「ベロベロバー」と言ってへんな顔をしたり、笑う子もいますが、表情ひとつ変えない子どももいますね。案外子どもを笑わせるのは、難しいのです。では、子どもを必ず笑わせる方法。それは、ひょいと抱っこしてやるのです。それだけでいいのです。子どもは好きな人に抱っこされると必ず笑顔になります。

前回のお便りにも書きましたが、毎日、ぎゅーっと抱きしめてあげることもちろん、手をつないで歩くこともスキンシップです。

子どもは、自分の体の一部に触れられる関わりをしてもらえると、自分は愛されていると実感でき、笑顔になります。

### かかわり方をひと工夫する ☆子どもの笑顔は親次第

親に楽しくかかわってもらおうと、子どもは必ず笑顔になります。子どもが笑うと親も思わ



ず笑顔になります。

子どもを笑顔にするチャンスは、どこにでもあります。

着替えのとき、食事、お散歩、お風呂タイム…子どもが目の前にいる限り、1日の中どの1分間を切り取っても、そこを子どもの笑顔がいっぱいの時間にできます。

たとえば、手をつないで散歩中、笑顔見たいなと思ったら、手を大きく振ってみてください。子どもの頭上にくるくらい。「ママ～」と呼ばれたら「なんですか～」と言いながら子どもに近づき、子どもの顔のすぐそばに顔を近づけてみてください。ほんの少し楽しい関わりをすればいいのです。

### 「ほめことば」をかける ☆認めるだけで子どもは喜ぶ

美容院に行った時、周りの人に行ってきたことを気づいてもらえただけで、嬉しくありませんか。「すてきになった」と言われていないのに嬉しいですね。

食事をきれいに食べた子どもに「残さず食べたね」挨拶できた子どもに「ちゃんと挨拶できたね」と、事実を言うだけで笑顔になり、次もまた同じことをしようとしています。

「えらいね」などひとことも言っていません。人は、自分のしたことを認めてもらうだけで嬉しいのです。

「待っていてくれたね」「最後まで読めたね」「靴をきちんとはけたね」「ひとりで着られたね」そう言うだけで子どもは笑顔になります。そうです。子どもがやったことをただ復唱するだけで「ほめことば」になるのです。それだけです。



### 遊びに親がかかわる ☆うれしさ楽しさ100倍に

家庭には、子どものおもちゃがおよそ「年齢×100」と言われています。数えきれないほどありますが、子どもはまだまだほしがります。飽きてしまったおもちゃに新しい魅力を吹き込み、再びそれらで遊ぶようにするには、親がかかわることです。

たとえば、遊ばなくなったままごとセット。それらを出して、突然「〇〇ちゃん、ごはんできたよ」などと言って、お母さんが遊び始めます。子どもは、必ず反応します。久しぶりにそのおもちゃで遊びだします。

そのほか、トランプ、ゲーム、古い絵本…何でもいいのです。改めて親がかかわることで、それらが魅力あるものに感じるのです。

子どもは、おもちゃが楽しいだけでなく、そのおもちゃを通じてお父さんやお母さんと遊ぶのが楽しいのです。しかし、1分もたたないうちに飽きて、その辺に転がすこともあります。でもいいのです。その一連のやり取り、その1分の出来事が、子どもの中にはもう一生の思い出として残ったりするのです。

どうですか。全部出来なくてもいいのです。思い出した時に実行し、笑顔になっていただければと思います。まだまだ、法則の続きはあります。次のお便りでお送りします。

